

第16期研究1年次中学部実践

中学部では習熟度別に3つの縦割りグループで授業を行っている。それぞれのグループで、生徒の実態に合わせて、「言葉の特徴や使い方に関する事項」「情報の扱い方に関する事項」「我が国の言語文化に関する事項」「聞くこと・話すこと」「書くこと」「読むこと」の項目を年間を通して計画し、授業を実施している。

今回、中学部の授業研究の対象として、Bグループの「聞くこと・話すこと」の学習を取り上げることとした。Bグループではこの「聞くこと・話すこと」の学習として、5月に「すごろくで自己紹介をしよう」の単元に取り組んだ。その中で相手に伝わりやすいように「ゆっくり話すこと」「適切な声の大きさ」「正しい姿勢」に気をつけながら話す学習を行った。今回は、「すごろくで自己紹介をしよう」で学んだことの定着や、実際に生徒が日常生活の中で生かすことのできる「聞く力・話す力」の育成をねらい、「電話で話そう」の単元に取り組むこととした。電話は将来の生徒の生活に必要なものになると思われるが、Bグループの生徒はそのための学習をこれまでに経験したことはなかった。生徒が現在及び将来の実生活の中で、学習したことを生かして、電話を使って他者とコミュニケーションを取ることができるようになることにつなげていきたいと考えた。

この単元では、学習内容表中の「挨拶や電話の受け答えなど、決まった言い方を使うこと。(小3段階)」「電話を通して目前にいない相手に対して話す際に、丁寧な言葉を使うなど、話す相手や場面や目的等に応じた言葉遣いを考えて話すこと。(中1段階)」の内容を、主に取り扱うこととした。

Bグループの生徒は「すごろくで自己紹介をしよう」の単元や他の単元でも、教師の質問に答えたり、教師と一緒に発声したりするなど、対面で話す学習にはこれまでに多く取り組んできた。その中で、伝えたいことを事前にワークシートに書き、それを読むことで自分の考えを発表する一連の活動に意欲的に取り組むことができた。発声して発表することが難しい生徒が1名在籍しているが、その生徒も、画用紙に自分の考えを書いておき、教師の質問に答えるタイミングでみんなに提示するという方法で、意欲的に参加することができた。また、友達の発表のときは、その友達に注目し拍手をするなど、それぞれの良さを認め合いながら学習ができるグループである。相手に伝わりやすいように工夫して話すことについては、引き続き取り組んで定着を図る必要がある。

単元の計画を進めるにあたっては、1次目に電話の種類や電話での話し方について知る授業を設定した。2次目に3次で実際に電話で話す練習に入るための準備として、場面ごとのワークシート作りに取り組んだ。場面は①スーパーの場面②忘れ物の場面③お迎えの場面の3つである。3次では、生徒が実際に話す練習に十分取り組むことができるように、①から③の場面で、1つの場面につき3回ずつ授業を行うようにした。実際に携帯電話(通話はできない)を持って話したり、タブレット端末の通信機能を使って目前にいない相手との実際に受け答えを行ったりする活動を設定した。

授業の展開は表12の通りである。3の「言葉さがし」や5の「今日のお話」は年間を通して行っている学習で、単元の目標に迫る学習活動は4の「電話で話そうの練習をしよう」となる。4の活動は、①【スーパーの場面】②【忘れ物の場面】③【お迎えの場面】の場面ごとに3回の授業を設定しており、1時目ー2時目ー3時目とステップアップする活動内容となっている。

中学部国語Bグループ 国語科 学習指導案（抜粋）

1. 単元名「電話で話そう」

2. 単元の目標


○電話で相手がわかるように、工夫して伝えることができる。

3. 単元の計画（全14時間）

次	時	日時	学習活動	指導内容（学習内容表から）
1	3	10/7 ～ 9	電話での丁寧な話し方を知る。	<ul style="list-style-type: none"> ・丁寧な言葉を使うこと。 ・電話の受け答えなど、決まった言い方を使うこと。
2	2	10/14 10/16	ワークシートにまとめる。 ①スーパーの場面 ②忘れ物の場面 ③お迎えの場面	<ul style="list-style-type: none"> ・絵や写真などを手掛かりに、伝えたいことを検討すること。 ・話したいことを決めること。
3 ①	9	10/21 10/23 10/28	電話で話す練習をする① 1. ワークシートの確認、練習 2. 電話を使った練習 3. 発表	<ul style="list-style-type: none"> ・電話の受け答えなど、決まった言い方を使うこと。 ・電話を通して目前にいない相手に対し、丁寧な言葉を使うこと。 ・相手の話を受け止めること。 ・発音や声の大きさに気を付けて話すこと。
3 ②		11/4 11/6 11/11	電話で話す練習をする② 1. ワークシートの確認、練習 2. 電話を使った練習 3. 発表	
3 ③		11/13 11/18 11/20	電話で話す練習をする③ 1. ワークシートの確認、練習 2. 電話を使った練習 3. 発表	

4. 単元の個人目標（各教科・領域等）

生徒	個人目標
E	①電話対応で、自分の状況が相手にわかるように適切に話すことができる。（小3段階）
F	①電話対応で、自分の状況が相手にわかるようにワークシートを活用して話すことができる。（小3段階）
G	①電話対応で、自分の状況が相手にわかるようにワークシートを活用して話すことができる。（小3段階）
H	①決まった相手との電話を想定し、決まった言い方を使うことができる。（小3段階）
I	①自分の状況が相手にわかるように、順序を考えて伝えることができる。（中1段階）

	学習活動	活動の詳細		学習活動
1	はじめのあいさつ			「スーパーでお菓子を 買いたい時」 の場面を確認をする。
2	今日の学習の確認	・本時の活動の流れを、ホワイトボードで確認 をする。		ワークシートを見ながら 個人で会話の練習をする。
3	「言葉さがし」	・「今日の一文字■」を決め、■から始まる言葉 を時間内で思い付くだけ書く。		一人ずつ、 L1と会話の発表をする。
4	「電話で話そう」 の練習をしよう。	・前時に記入したワークシートを読む練習をする。 実際にスマートフォンやお菓子の空箱を持って会 話の練習をする。		
5	「今日のお話」	・読み上げられた問題をワークシートを使って解 く。		
6	おわりのあいさつ			

実際の授業について、ここでは10月23日と11月11日の2回の授業を取り上げて紹介したい。

まず、1つ目の3-①次の2時目の授業「スーパーの場面、電話を使った練習」は、全14時中7時目にあたり、本時の目標として「電話で、スーパーで買いたい物を伝えることができる。」と設定した。授業の中心となる『「電話で話そう」の練習をしよう』では、初めに「スーパーでお菓子を買いたい時」の場面の確認を電子黒板やワークシートを見ながら行った。次に、実際に携帯電話とお菓子の箱を持って対話する練習を行った。教師と一対一で個別に話す練習を重ねる時間(生徒Iはチャット機能で対話するコメントごとにチャットで送信をする練習を行う時間)と、T1と対面の会話の形式で練習の成果を発表する時間を設けて実施した。電話を持って練習するのは2回目ということもあり、どの生徒も意欲的に取り組む様子が見られた。電話での決まった言い方はまだ覚えておらず、ワークシートを見ながらも間違える様子が見られた。チャット機能を使う生徒Iも、積極的に練習することができた。2つ目に紹介する授業11月11日の前に数度授業を行ったが、その間は「主体的・対話的で深い学び」の視点で授業改善を図った。

【授業改善の主な改善点とその目的】

改善点	目的
①練習方法の変更。ワークシートをそれぞれ読んで練習する時間を、教師の手本を聞いて復唱して繰り返す練習に変更した。	目で見えて読むだけでなく、耳で聞いて復唱することにより、「適切な声の大きさ」、「間の取り方」など「相手に伝わるような話し方」についての具体的な仕方を知ることができる。定型の言い方について耳で聞いて覚えることができる。
②チームティーチングとして、メインの教師が教室を離れ電話応答するのではなく、教室に残って生徒の指導を行い。サブの教師が電話対応をすることとした。	前回の生徒の一人ひとりの様子を基に、発表の前に気をつけることを伝えたり、必要な指差し等を行ったりして個別の支援を行うことができる。発表の後によかった点などをクラス全員に伝え、認め合う雰囲気を作ることができる。

③生徒 F の発表方法について、電話応答している様子を他の生徒は近づいて発表を見守るようにした。	これまでの取り組みの中で、生徒 F が安心して活動している様子が見られたことを前提としている。他の生徒にも生徒 F の努力している様子を知らせることができる。生徒 F もみんなに自分の活動の様子を見てもらうことで、自信を高めることができる。
--	--

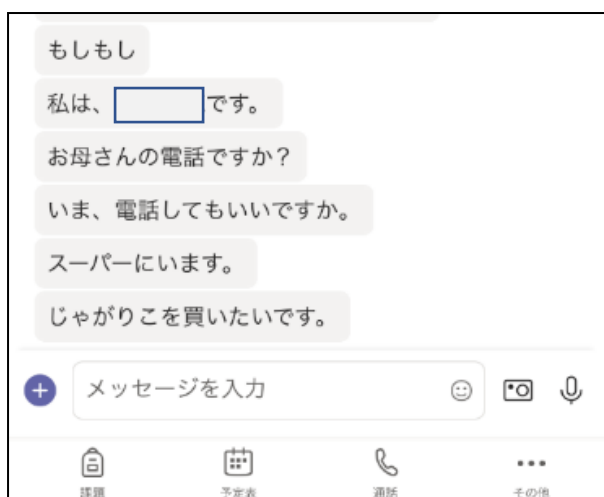
このような改善をした上で、11月11日の授業を行った。この授業は全14時間中の11時間目の授業にあたり、3-②次の学校で筆箱を忘れたことについて電話する発表の授業であった。授業の展開は①の10月23日の取り組みと同じ流れである。授業の中心の活動となる「電話で話そう」の練習では、前時の「電話を使った練習」から続く「発表」の活動となった。本時では、それぞれの生徒が実際にタブレット端末で通話できるようにし、対面していない相手と電話の対応をする活動を行った。生徒は電話を持ちながら話すことにも慣れ、教師の促しがなくても自分から通話を開始したり、順番になったら自分からタブレット端末を受け取ったりする様子が見られた。練習の仕方を、個人練習から全体練習に変えたことで、ワークシートを正確に読むことが難しい生徒も周りの生徒と一緒に、教師の手本に続いて話す練習を積んだことで、決まった言い方を覚えて一人で発表することができるようになった。

単元の個人目標の評価は以下の通りである。ワークシートを用いて、決まった言い方で話すことができるようになったことから、「知識及び技能」の観点からはすべての生徒が目標を達成することができたと評価した。「思考・判断・表現」の観点については、「相手に伝わるような話し方」を意識してゆっくり大きな声で話そうとしたり、ワークシートをしっかりと見て会話の流れを確認しながら話したり、適切な漢字を選んで文字を打つなど、達成できた生徒もいた。「主体的に学習に取り組む態度」の観点からは、どの生徒も自分から教材を取りに行ったり、手を上げて発表したいことを伝えたり、友達の発表の様子に注目して褒めるなど、積極的に学びに取り組む姿が見られたので達成したと評価できた。

〔単元の個人目標の評価〕

	目標	評価	評価の根拠となる様子
E	①電話対応で、自分の状況が相手にわかるように適切に話すことができる。(小学部3段階)	○	ワークシートを一人で読みながら話すことができ、言い間違えたときも自分で気付いて言い直すことができた。
F	①電話対応で、自分の状況が相手にわかるようにワークシートを活用して話すことができる。(小学部3段階)	○	ワークシートを一人で見ながらしっかりと携帯電話を耳元につけて、ゆっくりはっきり話そうとしていた。
G	①電話対応で、自分の状況が相手にわかるようにワークシートを活用して話すことができる。(小学部3段階)	○	時々ワークシートを自分で指さして確認し、順番どおり読むことにも注意しながら発表するができた。
H	①決まった相手との電話を想定し、決まった言い方を使うことができる。(小学部3段階)	○	タブレット端末から音が出ていることにも少しずつ慣れ、笑顔で電話をすることができるようになった。

I	①自分の状況が相手にわかるように、順序を考えて伝えることができる。(中学部1段階)	○	文字打ちの候補に出てきたものから適切な言葉を選んだり、知っている漢字を変換したりして、より相手に伝わりやすい方法で表現することができた。
---	---	---	--



〔漢字変換を活用したチャットの文章〕



〔自分から教材を取りに行く様子〕

中学部の授業研究の成果と課題は以下のようにまとめられた。

	成果	課題
国語の資質・能力の育成について	<ul style="list-style-type: none"> ・この取り組みによって、「目の前にいない人」にも、話したり文字を打ったりして、伝えることができることを知ることができた。 ・電話の受け答えの決まった言い方を知り、ワークシートを使って言うことができた。 ・電話の受け答えで相手に聞き取ってもらおうと、大きな声でゆっくり話す様子が見られたり、文字を打つのも知っている漢字を使って読みやすいように工夫したりすることができた。 ・電話をするということへの抵抗を少なくし、電話で適切に話す力の育成には、定型文で練習を積み重ねることが有効であることが分かった。 	<ul style="list-style-type: none"> ・今後は、相手の質問の内容を聞き取る力や、それに応じた内容を自分で適切な言葉を選択する力の育成が必要である。 ・「自分から話す力」を育成するには、自分の置かれている状況が分かったり、自分の気持ちに気付いたりして、それを伝えるような学習に取り組みなければならない。 ・言葉を選んだり話の順番を決めたりするなど、相手に分かりやすく伝えるための学習には、今後も引き続き取り組む必要がある。

<p style="writing-mode: vertical-rl; text-orientation: upright;">電話を使用する機会</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・この単元が，生徒が実生活で電話を使うことのきっかけになった。 ・生徒に他者と会話をすることができる道具（ツール）として電話を知らせることができた。 	<ul style="list-style-type: none"> ・実生活での使用を目指すならば，実生活で使う経験を積む必要がある。そのため，教科横断的に他の教科や合わせた指導でも取り扱ったり，就業体験や校外学習時の報告などで電話を実際に使う機会を設定しなければならない。 ・家庭にもこの単元のことを伝え，家庭でも使用する機会をもつなど，般化につなげていきたい。
--	---	---